

第104回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時:令和6年3月12日(火) 午後7時00分～8時05分
- ・場 所:津久井総合事務所 3階 第1・2会議室
- ・出席者:委員19名出席(3名欠席)
- ・傍聴者:なし

1 開 会 高井副代表

2 代表あいさつ 熊谷代表

3 情 報 提 供

- (1)中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針の策定について(医療政策課)
- ・基本方針に基づく具体的な施策の検討内容について説明を受けた。

<主な意見等>

- 相模湖地区において、千木良診療所を内郷診療所へ統合することのだが、三ヶ木に森田病院があるため、利用者側からの地理的なバランスなどの観点から、内郷を廃止して千木良を存続させた方が良いのではないかと感じるが。
内郷診療所は比較的建築年数が浅く、施設も広いため、こういった施設の老朽化や診療機能などを踏まえて統合を進めた。

4 協 議 事 項

- (1)令和5年度地域活性化事業交付金の活用事業について

令和5年度の実施状況及び事業実績報告について

- ・地域活性化事業交付金を活用した団体は3団体であるが、2団体については今年度の事業が終了していないため、既に事業が終了している自然災害伝承碑「地震峠」を守る会について事務局から事業実績報告を行った。
- ・また、例年2月のまちづくり会議において、事業報告会を開催し団体から説明をいただいているが、事業が進行中であるなど、団体に掛かる負担は大変大きい。また、コロナ禍の数年間には書面にて事務局から報告していた。このため、今後のまちづくり会議での報告については書面での実施など、団体の負担を軽減するような方法を検討したい。

<主な意見等>

- 年度途中での事業報告は団体の負担となるため、報告会は実施せず、事業終了後の報告が良いのではないかと。また、報告の方法についても書面での報告でも十分ではないかと。

【結果】

- ・事業報告は書面とし、時期については4月以降として決定した。

令和6年度地域活性化事業にかかる申請団体の概要説明について

- ・コロナ禍前は申請団体に4月又は5月のまちづくり会議へお越しいただき、事業のプレゼンを実施していたが、継続する団体については例年同様の説明となる。
このため、新年度の申請に伴う団体からのプレゼンについても、新規団体はプレゼンしていただき、継続団体については書面での報告など、新年度の対応についても検討いただきたい。

【結果】

- ・2年目以降の継続団体については書面での報告とし、新規団体についてはプレゼンを実施することで決定した。

< 令和6年度地域活性化事業新規申請団体による事業説明 : 森田幹事 >

- ・以前田名で行っていた、「泳げ鯉のぼり相模川」を津久井湖で継承したい、相模原市の目玉となる事業を行いたい、こういった発想から津久井湖に鯉のぼりを渡し、津久井をPRしていく事業を予定している。令和6年度から3年間については、地域活性化事業交付金を活用して、何らかの事業展開や鯉のぼりの渡しを実現できるよう啓発活動等を行っていく。

< 主な意見 >

- 鯉のぼりを設置する場所はどこか。
花の苑地と水の苑地を結んで、鯉のぼりを掲げたいと考えている。
- 花の苑地と水の苑地を舟で渡せないか。
渡し舟についても考えていく必要はあるが、先ずは出来る範囲でのことを行っていききたい。
- 一般に寄付金を募ることは予定しているのか。
対岸に渡すのは数年後を予定しており、その間に事業費の積算など行っていく。
一方、こういった事業を津久井一丸となって行っていこうと機運を高め、寄付金を募る等、地域の方の賛同を得られればと思っている。
- 最近鯉のぼりを見かけなくなったが、鯉のぼりをどのような方法で集めるのか。
集める形ではなく、日本一大きいサイズの鯉のぼり1旒を掲げて実施していききたいと考えている。
津久井の企業にも協力いただき、津久井の材料、デザインなどを取り入れ、津久井の技術をアピールしていきたい。
また、5月5日こどもの日だけのイベントではなく、年間を通じて津久井のPR等、何らかの形で使用していきたいと考えている。

(2) 津久井地区まちづくりを考える懇談会について

- ・懇談会当日の進行内容等について事務局から報告を行った。

< 熊谷代表からの報告 >

- ・小野沢委員から発言のあった検討委員会の設置について、緑区長及び関係者と意見交換を行った。現在、鳥屋地区では、車両基地周辺の地域振興等について市や JR 東海が加わり検討が進められている。区長から、地域課題を解決する仕組みとしてまちづくり会議が最も重

要な会議体であるとの話があり、新たな検討委員会を立ち上げることは、既に検討を進めている鳥屋地区の組織やまちづくり会議との重複などの課題が考えられる。

こうしたことから、関東車両基地周辺のまちづくりについては市でビジョンをしっかりと検討してもらい、まちづくり会議としては市と連携してまちづくりの推進に努めていきたいと考えているため、今後、状況に応じて市に対し要望などを行っていきたい。

< 主な意見 >

特になし

(3) 令和5年度の活動のまとめ

・今年度の開催実績等について事務局から説明を行った。

< 主な意見 >

特になし

(4) 公募委員の選考結果報告について

・公募選考委員会を開催し、応募があった2名の選考を行ったところ、全員一致で選任されたことを事務局から報告を行った。

5 その他

(1) 津久井地区まちづくり会議委員の推薦について

・令和6年2月7日付け、各構成団体の長宛に、来期のまちづくり会議委員への推薦依頼を行った旨を報告し、各団体内での調整をお願いした。

(2) 次回全体会の日程について

・次回開催の有無について熊谷代表から説明があった。

年間事業計画では4月16日(火)の開催となっているが、予定していた地域活性化事業に伴う申請団体からの事業説明などが書面方式となり、また、新規申請団体のプレゼンについても本日実施したことから、4月のまちづくり会議は開催しない方向で考えている。各委員の意見をお聞きしたい。

< 主な意見 >

特になし

【結果】

予定していた4月16日(火)は開催しないこととなった。また、令和5年度地域活性化事業の交付団体からの実績報告書は、必要に応じて書面にて各委員へ報告することとした。

・秋本委員からの情報提供。

○「地震峠と十六の瞳」のミュージックビデオが完成し、動画サイトなどで配信されている。

○ケーブルテレビにて、地震峠の特別番組が放映中である。